

## 第1号報告 令和元年度事業報告について

### 令和元年度事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

#### 1 概要報告

養父市シルバー人材センターは、設立以来、地域の高齢者に対して就業の機会を提供し、働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織として、その時々に対応しながら発展してまいりました。

センターでは、更なる発展をめざして、平成27年に策定しました第1次中期事業計画“道しるべ”に沿って取り組みを進めてまいりました。この間、少子・高齢化の進展と国の雇用延長施策による企業の定年延長など社会情勢の変化に伴い、シルバー人材センターを取り巻く情勢も大きく変化してきました。

このような中で、センターにもその役割と機能の拡大が求められており、この計画の期間が令和元年度末をもって終了するにあたり、この1年をかけて前計画の達成状況を検証し、その上で令和2年度から新たに取り組むべき方策を示した第2次中期事業計画を策定しました。

これからは、この計画を基に高齢者の生きがいの創造と地域社会への貢献のためセンター事業を着実に推進していくこととなります。

さて、この1年間を振り返って見ますと、会員数については、前年度末で452人に対して426人で26人の減となりました。退会理由は「本人の病気」と「加齢」によるものが多数を占めています。

事業実績は、請負事業では契約金額212,384千円(対前年比2.2%減)、派遣事業は契約金額35,722千円(対前年比4.9%増)、会員への配分金・会員賃金は201,345千円(対前年比1.9%減)となりました。請負事業の契約額については、4月以降12月までは昨年とほぼ同額で推移してきましたが、1月以降は、暖冬と新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じました。派遣事業については、契約額は着実に伸びています。

安全就業では「安全は全てに優先する」のスローガンのもと、会員へ継続的な安全就業の声かけやパトロールの取り組みを行いました。残念ながら就業中の事故が2件発生しました。今後も引き続き、会員の安全意識の高揚と安全対策に努め“事故ゼロ”への取り組みが求められます。

適正就業については、発注者の理解を得て適正就業ガイドラインに沿いながら、請負から派遣への切り替えを進めました。

以下、事業実施状況について報告いたします。

#### 2 事業実施状況

##### (1) 会員の拡大

センター発展の基礎となる会員の拡大を重点課題ととらえ、新規会員を獲得するため、理事・班長会議や地域懇談会で会員に口コミ活動による新規会員獲得の協力を求めるとともに、以下のとおり新規会員の入会を促す取り組みを行いました。

- ① センター会報「匠」、ホームページによるシルバー事業の市民周知
- ② ハローワーク八鹿との連携による就業相談会の開催（12回開催）
- ③ 入会説明会（11回開催、参加者36名）
- ④ （公社）兵庫県シルバー人材センター協会とハローワークの共催による就職面接相談会へ参加
- ⑤ 高齢者を対象にしたスマートフォン講習会開催によりシルバー事業を周知

（各年度 3.31 現在）

年度	養父市総人口	60歳以上人口	会 員 数		
			会員数	男性	女性
H30	23,510名	10,611名	452名	251名	201名
R 1	23,087名	10,585名	426名	236名	190名
昨対比	△423名	△26名	△26名	△15名	△11名

## (2) 就業機会の確保・拡大

センターを更に発展させるためには、会員の拡大とともに、会員の就業機会を確保・拡大することが重要であり、公共機関等に継続的な仕事の発注をお願いするなど就業開拓を行いました。

### 職群部会の事業実績

（単位：千円）

年度	植木剪定	運転	草刈	襖・障子	福祉
H30	9,127	26,334	11,688	937	11,440
R 1	8,529	27,293	12,696	1,266	12,460
昨対比	93.4%	103.6%	108.6%	135.1%	108.9%

以下、就業機会確保・拡大のために次の活動を行いました。

- ① 会報「匠」によりシルバー事業を紹介（8月・1月 年2回発行）
- ② 一般就業先・派遣事業先へPR用リーフレットを配布
- ③ ボランティア活動

市内 4 地域において次のとおり実施

月 日	内 容	参加者数
7 月 6 日	八鹿地域：養父市役所周辺清掃作業	38 名
7 月 13 日	養父地域：養父地域局周辺清掃作業	29 名
7 月 20 日	関宮地域：関宮地域局周辺清掃作業	20 名
8 月 9・17 日	大屋地域：大屋地域局周辺清掃作業 おおやの郷ゆかた祭り準備	23 名

④ センターの情報をホームページ、フェイスブックで紹介

⑤ シルバー豊年まっりの開催

12 月 1 日にシルバー豊年まっりを開催し、地域から愛されるセンターを P R

### (3) 女性会員の増強と就業機会の拡大事業

① 笑い与健康お届け隊

養父市と連携してフレイル予防（虚弱の先送り）を目的に、会員が「笑い与健康お届け隊」の隊員となり、各地域に出向き高齢者を対象にフレイル予防教室を行っています。会員となって活動を希望する女性会員が増えています。

隊員数 41 名 会員就業延人日数 834 人日

② 女性会員にふさわしい地域に密着した就業

家事援助、子育て支援など福祉分野で会員が活躍しています。

新総合事業訪問型サービス 利用者 5 件、会員就業延人日数 222 人日  
学童保育 7 施設、会員就業延人日数 70 人日

③ まんど市の運営

関宮農村交流ターミナル“万灯の湯”で、休止していた食堂と直売所を“まんど市”として営業を再開し、女性会員の就業機会の拡大に努めました。

会員就業実人員 16 人、就業延人日数 873 人日

④ 手芸品の作成等、魅力ある活動

女性会員が「手芸の会」のグループ活動により、手芸品等を作成して販売しました。

⑥ ボランティア活動

福祉部会の女性会員が、市内の高校・専門学校に出向いて、交流を図りながら高齢者が持つ技能を伝えました。

- ・八鹿高等学校家庭科部（お手玉づくりの指導 会員 3名参加）
- ・公立八鹿病院看護専門学校（老年看護援助論授業 会員 4名参加）

#### (4) 補助事業（国・市）

センターでは、国と市の補助事業である「地域就業機会創出・拡大事業」と「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用して、地域の課題解決を会員の新たな就業に結び付けるとともに、地域の活性化に資する事業を行っています。

##### ① 地域就業機会創出・拡大事業

###### <養父市特産品販売拡大事業>

市内の耕作放棄地等 3.2ha の農地を借り受け、会員の新たな就業の場として農業に取り組んでいます。栽培については、ぼかし肥料を使用し、安全・安心・美味しいにこだわり、商標登録した「温石米」「やぶ米」のお米や野菜などを販売しました。

また、会員が栽培した農産物に加え、農業特区事業所の商品なども「オールやぶ」の特産品として都市部のセンター等を通じて販売しました。

主な事業実績は次のとおりです。

区 分	販 売 先	回 数
シルバー関係	門真、伊丹、宝塚、芦屋、西宮、明石等	18回
イベント関連	大阪府高齢者大学、明石、芦屋等	4回
民間関係	大阪府高齢者大学、民間企業3社	18回

###### <わくわく学ぶ農活事業>

都市部の農業に関心がある個人や団体等に空き農地を利用したオーナー制度を導入し、養父市で交流と農業体験を提供しました。利用者に農作物の栽培管理や専門的な技術を指導するなど、会員の新たな就業の機会の創出を図りました。

事業実績は、利用者(団体)数：12名(団体)、利用面積：765㎡です。

###### <農村交流ターミナル「万灯の湯」再生事業>

関宮農村交流ターミナル“万灯の湯”で、休止していた食堂と直売所の営業をセンターが再開し、食堂ではセンターが栽培した安心・安全な農産物を食材として使用するなど、健康を意識したメニューを提供しました。会員の新たな就業の場となり、女性会員が活躍しています。

経営については、新たに取り組んだお弁当の販売が好評で、売り上げを

伸ばしましたが、冬季は暖冬や新型コロナウイルスの影響を受け、残念ながら思うような収益を上げることはできませんでした。

事業実績数は次のとおりです。

来店者数	1,761人
就業実人員	16人
就業延人日	873人日

## ② 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

### <フレイル予防事業>

健康で安心して暮らせるまちをめざし、養父市と連携してフレイル予防（虚弱の先送り）事業「毎日元気にクラス」に取り組んでいます。会員が“笑い与健康お届け隊”となり、養父市内に出向き、各地区週1回1時間程度の教室で、健康につながる「運動」「栄養」「社会」プログラムを伝えています。参加者や会員がともに元気で明るく楽しい毎日を送れるようにと事業を行いました。

笑い与健康お届け隊の活動実績は次のとおりです

〔毎日元気にクラス教室〕

年度	開催地区	延参加者数	延会員数
H28	13地区	3,192名	752名
H29	11地区・1校区	2,537名	645名
H30	11地区	3,521名	737名
R1	中瀬・建屋・天子・下町・葛畑・ 稲津・大屋市場・船谷・薮崎・一部 第一学院高等学校・天女の湯・ ミニデイ等イベント	2,874名	712名

〔継続地区フォローアップ〕

年度	開催地区	延参加者数	延会員数
H28	4地区	38名	7名
H29	15地区・1校区	171名	28名
H30	13地区	153名	24名
R1	筏・福定・大薮・旭町・高中・養父 市場・諏訪町・駅前・能座・関宮・ 奥米地・栗ノ下・樽見・寄宮・堀畑・ 轟・三宅・森・蔵垣・宿南自治協・ 野谷・長野・下小田・石原・中央・ 上網場・朝倉・小山・鉄屋、口米地・ 京口	323名	59名

〔継続地区体力測定〕

年度	開催地区	延参加者数	延会員数
H30	33地区・1校区	418名	65名
R1	筏・福定・大藪・旭町・駅前・関宮・栗ノ下・樽見・轟・三宅・蔵垣・宿南自治協・長野・下小田・上網場・朝倉・小山・京口・宮町・石原・中央・下八木・宮本・国木・椿色・大谷・九鹿・奥米地・吉井・青山・宮垣・万久里・馬瀬・森	363名	63名

〔研修会等〕

内容	回数	延参加会員数
寸劇研修	2回	35名
スキルアップ研修	2回	44名
笑い与健康お届け隊 第7期生養成研修	3回	34名

(5) 独自事業（手芸品）

月に2回、女性会員相互の交流を深めながら、独自事業として手芸品づくり活動をしています。手芸品のリフォームも含め、作った手芸品を「まんど市」や各地で開催されるイベントに出品して販売しました。会員の丁寧な作品が好評を得ています。

(6) 有料職業紹介事業

高齢者の雇用機会の拡大を図るため、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事務所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に職業を紹介します。実績はありませんでした。

(7) 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

高齢者の多様な働き方を確保するため、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が実施する労働者派遣事業の実施事務所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する会員と雇用契約を締結し、会員を事業所等へ派遣します。実施に当たっては、協会と緊密な連携を図りながら事業を実施しました。契約金額は35,722千円で、対前年比4.9%増となり派遣事業の割合が伸びています。

(8) 養父市委託事業

養父市から次の事業を当センターが受託して実施しました。

① 大屋生活支援ハウス事業

養父市が設置する大屋生活支援ハウス事業の一部を受託し、入居者の支援を行いました。

② 放課後ふるさと教育事業

養父市が行う放課後ふるさと教育事業を受託し、「ふるさと伝承体験学習講座」を市内のこども園並びに学童クラブにおいて次のとおり実施しました。

内 容	会 員 数	学 童 数	実 施 月
魚のつかみ取り	9名	44名	7月
うちわ作り	41名	233名	8月
焼き芋体験	21名	164名	11月
正月飾り作り	5名	5名	12月
たこ作り	8名	24名	12月
節分豆まき	4名	14名	2月
お雛様作り	30名	139名	2月

3 安全・適正就業の推進

安全はすべてに優先することを最優先として安全就業に取り組む中、令和元年度は就業中に事故が2件発生しました。

適正就業については、適正就業ガイドラインに沿いながら、1年をかけて養父市の理解を求め、市有車両管理業務の一部を請負から派遣への移行を進め、令和2年度から運転業務については派遣事業で実施することとなります。

令和元年度は、次のとおり安全・適正就業の取り組みを実施しました。

(1) 安全技能講習会の実施

月 日	講 習 会 等 名	参加者数
6月27日	草刈機取扱い講習会	17名
12月6日	安全運転管理者講習会	1名
3月11日	運転部会	21名
3月24日	植木剪定部会（安全作業講習）	5名
3月26日	草刈部会（機械安全取扱講習）	16名

- (2) 安全委員会等の開催  
14回開催
- (3) 安全パトロールの実施  
安全委員、安全就業推進員、職員等による現地パトロールを随時実施
- (4) 兵庫県警本部主催「無事故無違反運動 チャレンジ100」  
5チーム（50名）参加
- (5) 安全・適正就業研修会への参加  
7月26日 兵シ協 安全・適正就業推進員等研修会 2名参加
- (6) 安全就業の啓発  
啓発チラシ 毎月配布
- (7) 安全就業推進員による安全就業の周知

開催日	会議名	参加者数
2月4日	八鹿地域懇談会	39名
2月7日	関宮地域懇談会	15名
2月12日	養父地域懇談会	30名
2月14日	大屋地域懇談会	34名

- (8) 就業の交代制、ローテーションによるワークシェアリングの推進
- (9) 当センターの会員に相応しい就業の取り組み

#### 4 視察交流研修

10月18日、センターの役員と職員は、福井県大野市シルバー人材センターを訪問して独自事業等について視察研修を行いました。

#### 5 大学等の研究・研修への協力

当センターのフレイル予防事業等を題材にした大学等の研究・研修に協力しました。

- ① 7月1日 兵庫県立大学看護学部
- ② 7月11日 武庫川女子大学大学院看護学研究科
- ③ 9月30日 WHO（世界保健機関）健康開発センター

#### 6 友の会事業

会員の福利厚生に伴う事業を行いました。

- (1) 友の会運営委員会の開催（3回開催）
- (2) 日帰り親睦研修旅行  
10月14日（祝/月）に75名の参加で、岡山・倉敷方面へ会員親睦旅行に



出かけました。当日は晴天に恵まれ、楽しい旅行となりました。

(3) 慶弔関係 3件

## 7 法人としての一般事業

(1) 総会、理事会等の開催

① 定時総会

5月25日 会場：ビバホール

② 理事会（6回開催）

5月8日

5月25日

6月11日

9月27日

12月12日

3月19日

③ 監事監査（年2回）

4月25日

11月11日（中間監査）

(2) 第2次中期事業計画策定委員会

12名の委員構成で、第2次中期事業計画策定委員会を設置し、令和元年11月より会議を3回開催して計画として取りまとめました。

その後、3月の理事会において当センターの計画とすることの承認を得ました。